

# 旭川医科大学 卒後の活動に関する調査 第3回アンケート調査集計結果

実施期間：2021年12月25日～2022年1月31日

調査対象者：旭川医科大学医学部医学科卒業生 4498名（開学～2020年度卒）のうち  
医学科同窓会より連絡可能な 3674名

調査内容：居住地・勤務地、就業状況、新型コロナウイルス感染症拡大の影響、  
医療に関する教育・指導等に関するアンケート

調査方法：無記名 Web アンケート調査（対象者に調査説明書を郵送）

回答方法：調査説明書に記載の Web アンケートサイトにアクセスして回答

回答率：21.9%（有効回答数 680、有効送付数 3103）

※ 集計にあたっては無回答、無効回答（回答方法を遵守していない等）を除外し、  
各設問における有効回答数を示す

※ 図表中の用語について

- ・出身地：15歳までに主に過ごした場所
- ・都市部：特別区、道府県庁所在地、政令市、中核市、医科大学・医学部所在地

調査実施：地域共生医育統合センター

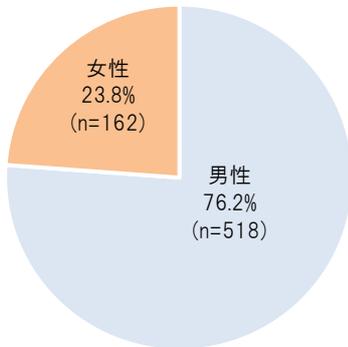
卒業生調査ワーキンググループ

報告書作成：インスティテューショナル・リサーチ室

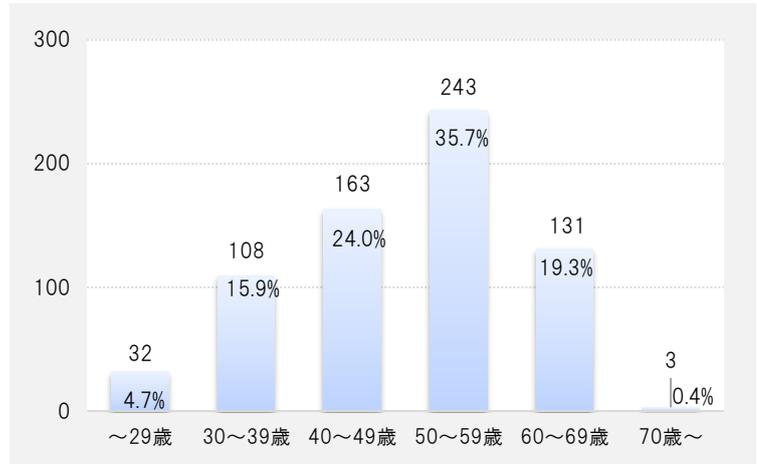


## 回答者について

性別 (n=680) 問1



年齢 (n=680) 問2



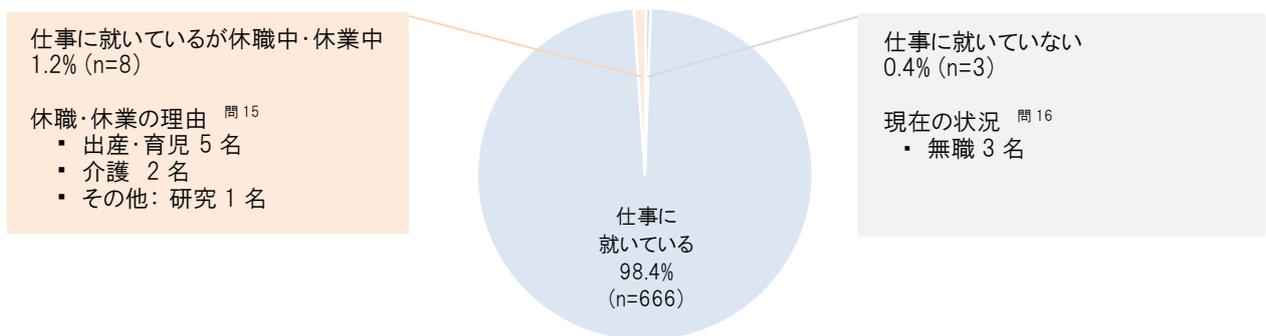
出身地の地方 (n=672) 問29

出身地	人数	割合
北海道	422	62.8%
東北	34	5.1%
関東	117	17.4%
中部	53	7.9%
近畿	23	3.4%
中国	8	1.2%
四国	8	1.2%
九州・沖縄	7	1.0%
海外	0	0.0%
合計	672	100.0%

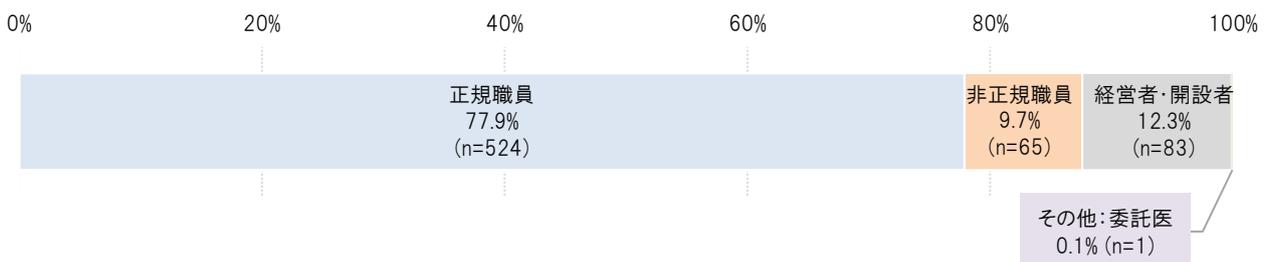
出身地の市区町村 (n=671) 問30

出身地	人数	割合
北海道内	424	63.2%
札幌市	127	18.9%
旭川市	74	11.0%
その他の市	160	23.8%
道内の町村	63	9.4%
道外・その他	247	36.8%
道外の都市部	107	15.9%
その他の道外の市	115	17.1%
道外の町村	25	3.7%
合計	671	100.0%

現在の就業状況 (n=677) 問14

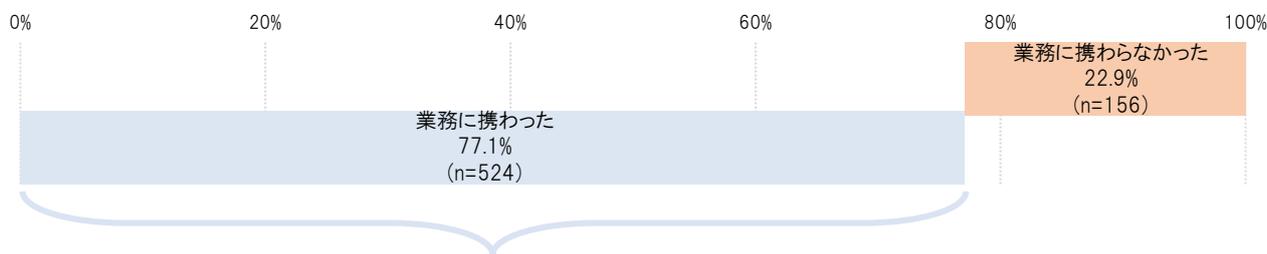


勤務形態 (n=673) 問24

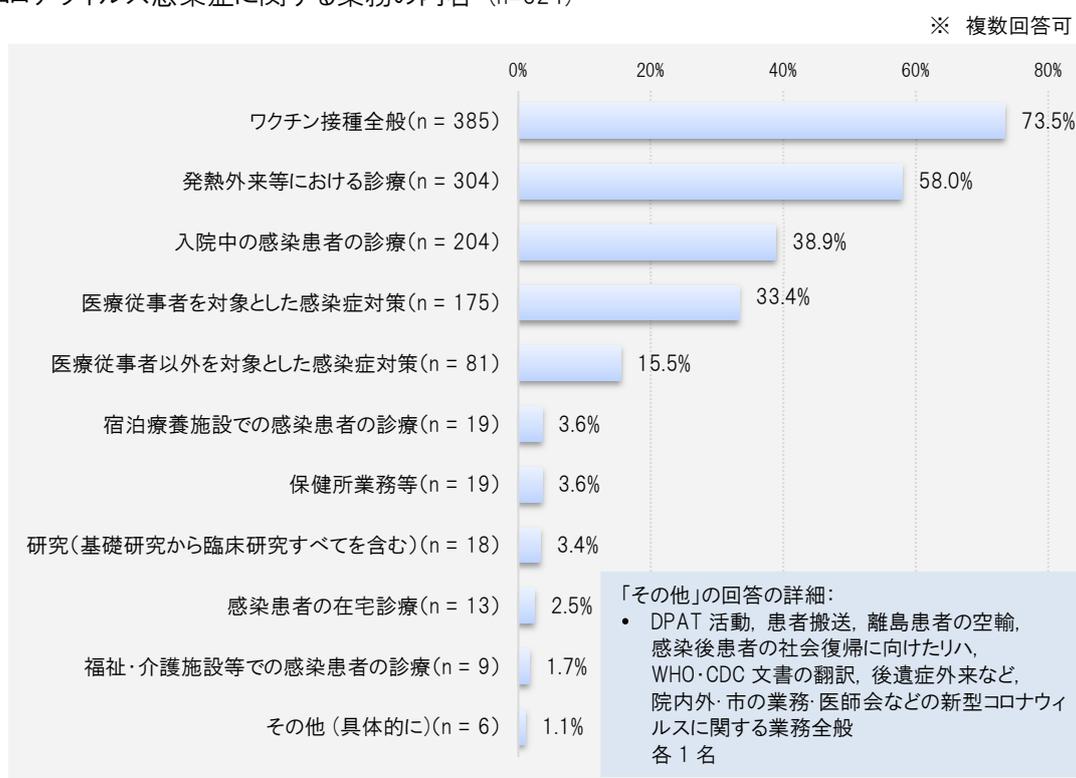


## 新型コロナウイルス感染症に関する業務

新型コロナウイルス感染症に関する業務の有無 (n=680) 問3



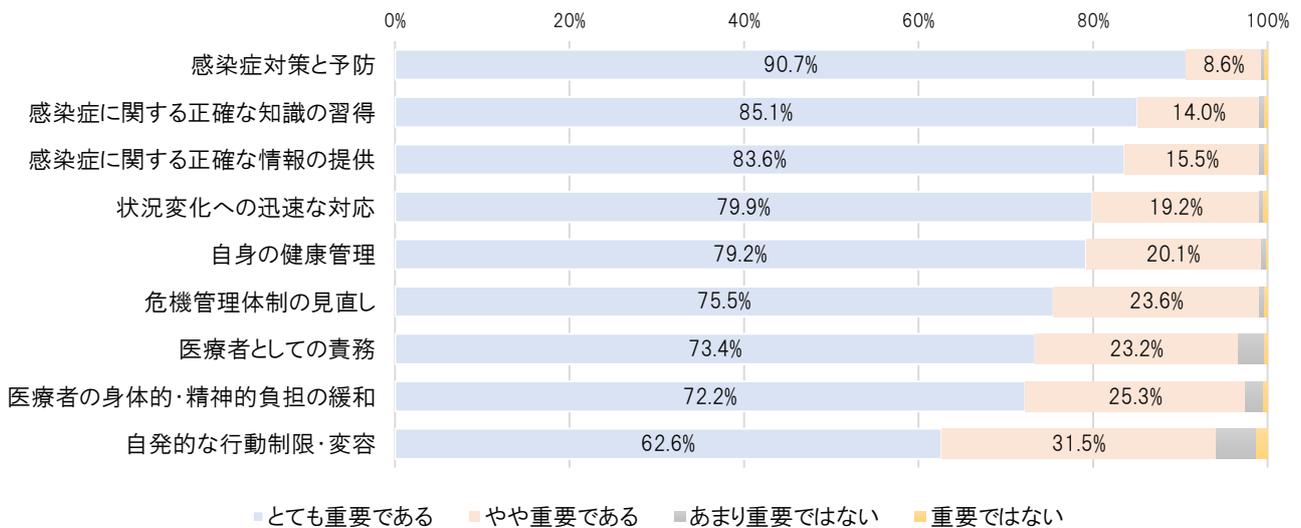
新型コロナウイルス感染症に関する業務の内容 (n=524) 問4



新型コロナウイルス感染症に関する業務で感じたストレスの度合い (n=524) 問5



新型コロナウイルス感染症拡大を経験して、医療者として重要と認識したこと (n=677) 問6

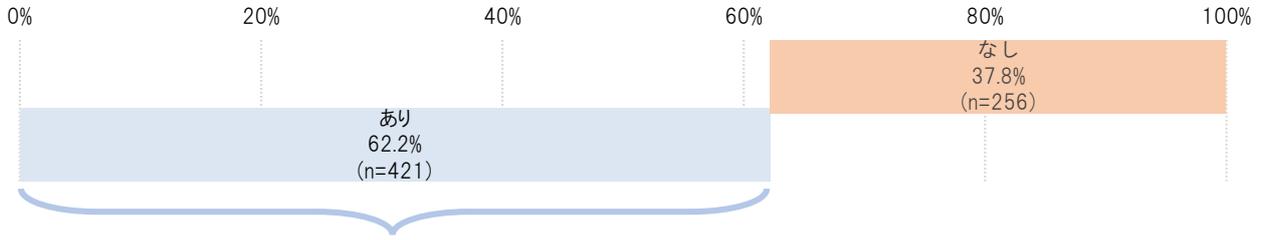


自由記述: その他、医療者として重要と認識したこと (n=48) 問7

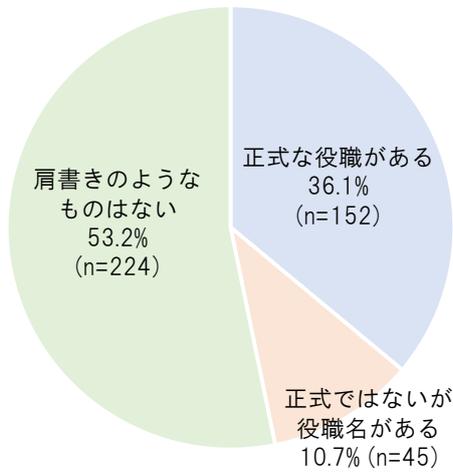
テーマ	n	%	一部コメント抜粋 (原文)
情報リテラシー	14	29.2%	・厚労省や医師会も混乱している中で、自ら情報収集、感染対策を考えてゆく力が必要とされたと思う。 ・報道機関、特にテレビワイドショーでの感染状況の取り上げ方が過剰と思いました。生物学や公衆衛生、統計学を義務教育できちんと履修する必要がありますと思います。
リスク管理の難しさ	12	25.0%	・コロナ感染者把握のための、集約的なツール。総患者数、重傷度別患者数、空きベッド数、どの病院に空床があるかなど、一元的に管理できるシステムが必要である。 ・所謂「医療者」でも、新型コロナウイルスに対応、非対応での、意識の恐ろしいほどの乖離。
診療体制・制度	12	25.0%	・患者及び家族の心理的側面への的確な配慮。 ・重症患者の診療レベルが低いことが患者の予後悪化に大きく関連していると感じ、集中治療部門の充実が必要と感じた。
医療者・家族への偏見	4	8.3%	・感染者や感染者に対する業務に携わった同僚等に対するハラスメントが無いように配慮すること。
その他	6	12.5%	・新しい感染症に対しても日常の臨床に対してもですが常に研究・分析する力が必要だと感じます。

## 医師・医療従事者等に対する教育・指導

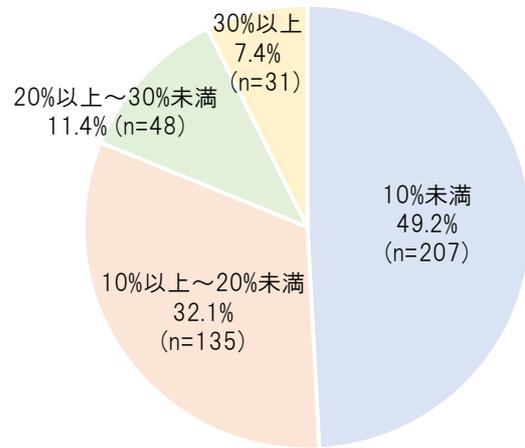
医師・医療従事者等に対する教育・指導の有無 (n=677) 問 8



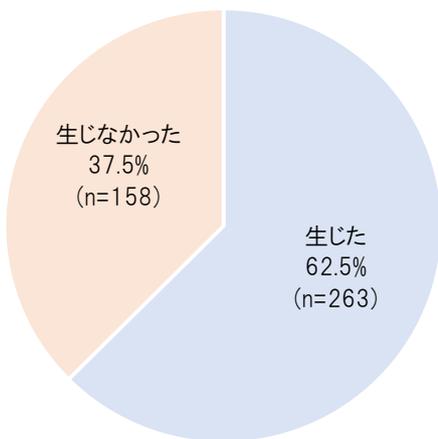
教育・指導上の役割を表す肩書き等の有無 (n=421) 問 10



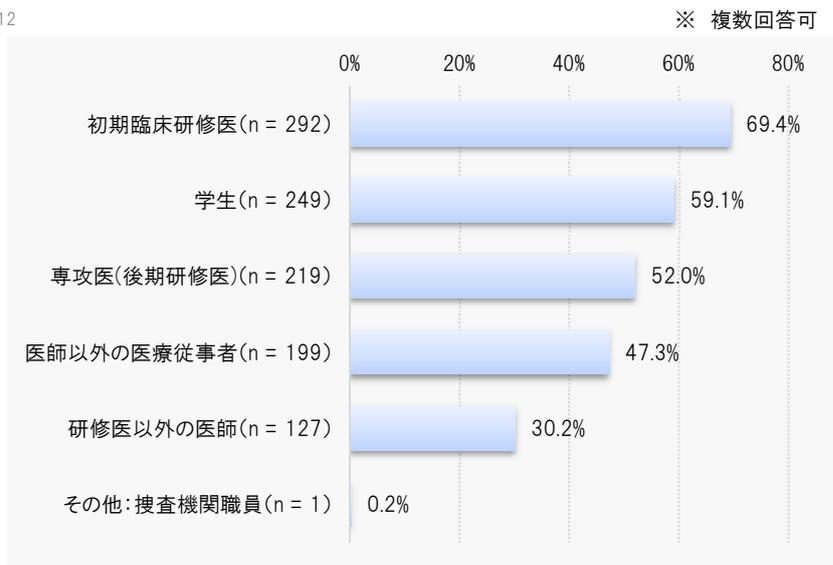
業務時間全体に対する教育・指導に関わる時間の占める割合 (n=421) 問 11



新型コロナウイルス感染症拡大による教育・指導上の問題・困難 (n=421) 問 12



教育・指導の対象者 (n=421) 問 9



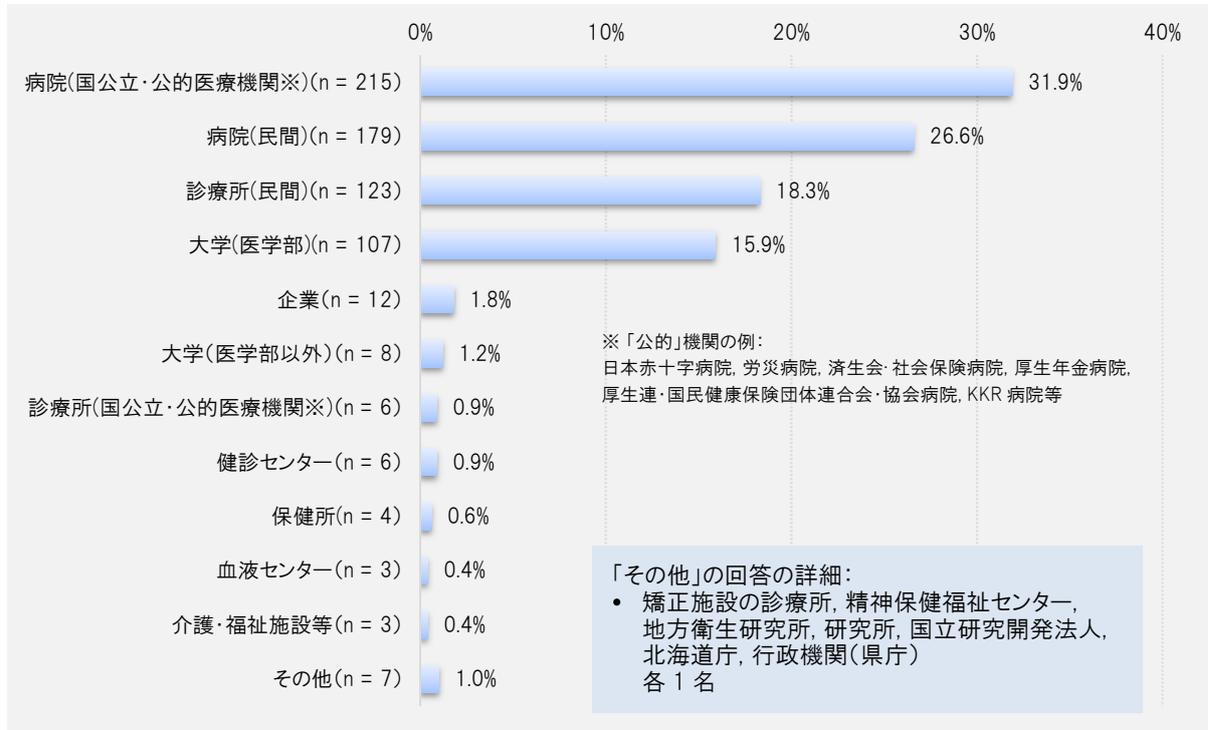
自由記述: 本学の医学教育に求めること (n=126) 問 13

※複数のテーマを含む回答を重複計上

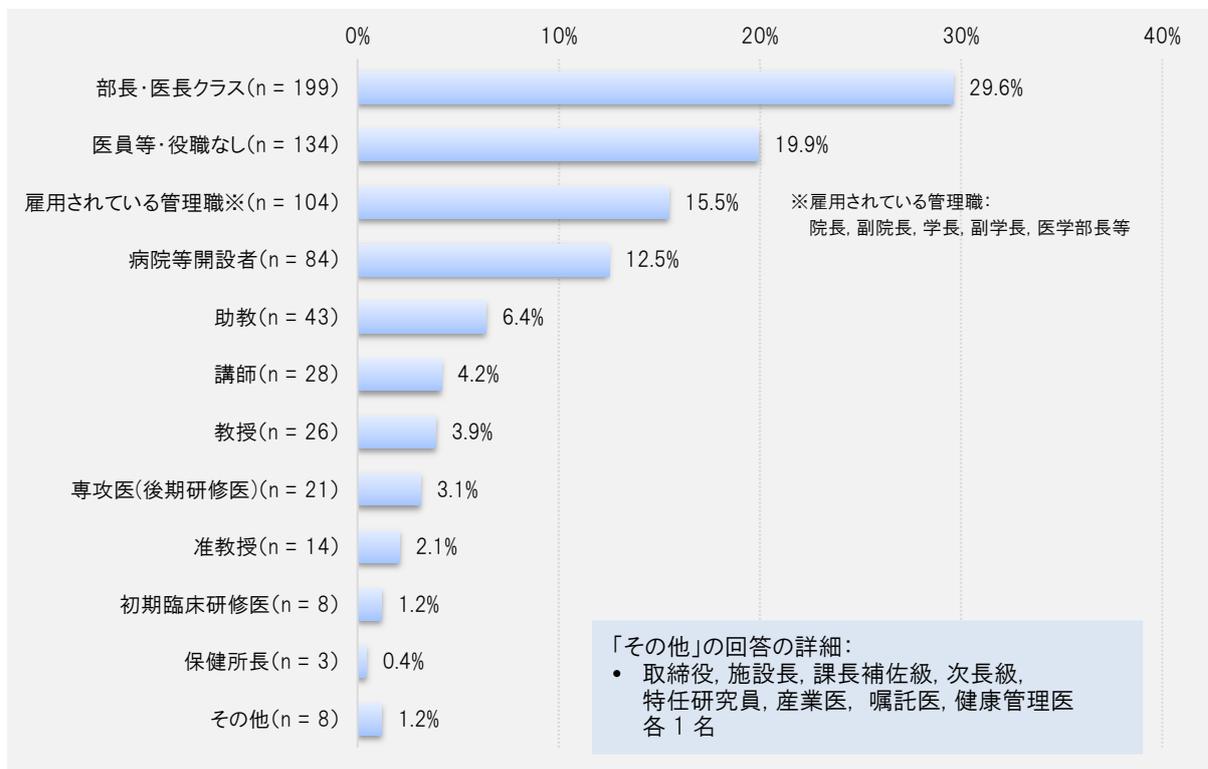
テーマ	n	%	一部コメント抜粋(原文)
<b>全般</b>			
プロフェッショナリズム	26	20.0%	・医学の前に、社会人としての心構えや常識も、教育して頂ければ、却って質の高い教育に繋がるかと存じます。 ・患者と同じ目線で医療を考えられる医師になれるような教育の継続をお願い致します。
大学の体制・ガバナンス	22	16.9%	・建学の理念に沿ったリーダーシップと地域医療への貢献。 ・大学を離れてみると単科大学の良いところ、同門のつながりなど他大学よりも強く感じた。一方で閉鎖的な印象もあったので他大学出身の先生を広く集めてもらってもっとオープンにしたらいと思います。
教育体制の強化・ 教員教育	15	11.5%	・教育する側(教員)のモラル。まずはそれを正すことだと思います。 ・教員教育も必要と思います。
臨床倫理	7	5.4%	・臨床倫理教育の充実。
国際化	6	4.6%	・地方医大だからこそ先進的な教育を行って特色を出すべきだと思うし、そのために医学教育を海外で学んできた人材を積極的に登用すべきと思う(旭川医大の卒業生にもいます)。教育にあたる臨床の医師にも意識改革を呼びかけるべき。
地域枠・地域医療	6	4.6%	・地域に残りたいと思えるような教育をしていかないと医師不足の解消は難しい。
チーム医療	5	3.8%	・患者だけでなく、コメディカルへのコミュニケーション能力。
その他	6	4.6%	・私を教育して下さい事に心から感謝しております。決して優秀ではないけれども頑張っている学生に、これまで同様にご指導下さる大学であり続けて下さい。お願いします。
<b>項目別</b>			
実践的・臨床的教育	7	5.4%	・より医療現場で役立つ実践的な教育。 ・医療(医学ではなく)に関する教育。
卒後教育	5	3.8%	・地域医療を担うジェネラリストの重要性と、最北端における先進的医療の取り組みのバランスをとった教育の提供。 ・指導医講習会の受講者を増やす。最新の医学教育の普及。
英語	4	3.1%	・学生時代、英語学習が全く効果を感じませんでした。実践的な教育が必要と考えます。
医療経済・ICT	3	2.3%	・医療経済や情報通信技術など専門以外に興味を持たない医師が多すぎて、教養課程をもう少し重視してほしいのですが、興味のない学生には難しいと思います。
オンライン教育	3	2.3%	・オンライン教育に対するハード・ソフト面の拡充が組織を挙げて必要。
基礎医学	3	2.3%	・基礎の講義の時に臨床など実際の事例を示してもらえると身につけやすい。
統計学	3	2.3%	・実際の統計の演習。サンプルサイズの決定、統計方法の選択、臨床データの分析、解釈に関して系統立てて教わりたかった。
その他	9	6.9%	・わかりやすい予備校などの授業を参考に講義をわかりやすいものにする。大学がいくつかの予備校 WEB 講義の費用負担をして、講義担当の先生の授業準備の参考に使えるようにするなど、検討してもよいのでは？

## 勤務先・役職

勤務先の種類 (n=673) 問 23



勤務先の役職 (n=672) 問 25



## 診療科・業務内容

現在の主な診療科(もしくは業務内容) (n=671) 問 26

	人数	割合		人数	割合
内科	62	9.2%	泌尿器科	7	1.0%
麻酔科	49	7.3%	婦人科	7	1.0%
小児科	45	6.7%	救急科	6	0.9%
整形外科	40	6.0%	血液内科	4	0.6%
眼科	40	6.0%	心療内科	4	0.6%
消化器内科(胃腸内科)	37	5.5%	呼吸器外科	4	0.6%
産婦人科	35	5.2%	乳腺外科	4	0.6%
循環器内科	25	3.7%	感染症内科	3	0.4%
耳鼻咽喉科	25	3.7%	小児外科	3	0.4%
精神科	23	3.4%	形成外科	2	0.3%
皮膚科	22	3.3%	気管食道外科	1	0.1%
脳神経外科	19	2.8%	肛門外科	1	0.1%
糖尿病内科(代謝内科)	15	2.2%	美容外科	1	0.1%
総合診療	15	2.2%	臨床検査科	1	0.1%
外科	14	2.1%	アレルギー科	0	0.0%
心臓血管外科	14	2.1%	産科	0	0.0%
神経内科	13	1.9%	研究職・基礎医学の教員	12	1.8%
呼吸器内科	12	1.8%	産業医	8	1.2%
消化器外科(胃腸外科)	12	1.8%	保健所などの行政医	7	1.0%
放射線科	12	1.8%	健診医	7	1.0%
リウマチ科	9	1.3%	臨床研修医	7	1.0%
リハビリテーション科	8	1.2%	その他の診療科	13	1.9%
病理診断科	8	1.2%	その他の業務	8	1.2%
腎臓内科	7	1.0%	合計	671	100.0%

「その他の診療科」の回答の詳細:  
 ・透析科, 集中治療科 各 3 名  
 ・腫瘍内科, 血液センター 各 2 名  
 ・在宅診療科, 緩和医療科, 看護師 各 1 名

「その他の業務」の回答の詳細:  
 ・病院経営・管理, 医学教育 各 2 名  
 ・製薬会社勤務, 院長, 保健管理センター長, 医療安全等 各 1 名

## 居住地・勤務地

現在の居住地の地域 (n=673) 問 27

	人数	割合
北海道	470	69.8%
東北	20	3.0%
関東	103	15.3%
中部	46	6.8%
近畿	17	2.5%
中国	8	1.2%
四国	3	0.4%
九州・沖縄	6	0.9%
海外	0	0.0%
合計	673	100.0%

現在の居住地の市区町村 (n=673) 問 28

	人数	割合
北海道内	471	70.0%
札幌市	173	25.7%
旭川市	185	27.5%
その他の市	85	12.6%
道内の町村	28	4.2%
道外・その他	202	30.0%
道外の都市部	145	21.5%
その他の道外の市	49	7.3%
道外の町村	8	1.2%
合計	673	100.0%

現在の勤務地の地域 (n=674) 問 17

	人数	割合
北海道	472	70.0%
東北	20	3.0%
関東	103	15.3%
中部	46	6.8%
近畿	17	2.5%
中国	7	1.0%
四国	3	0.4%
九州・沖縄	6	0.9%
海外	0	0.0%
合計	674	100.0%

現在の勤務地の市区町村 (n=674) 問 18

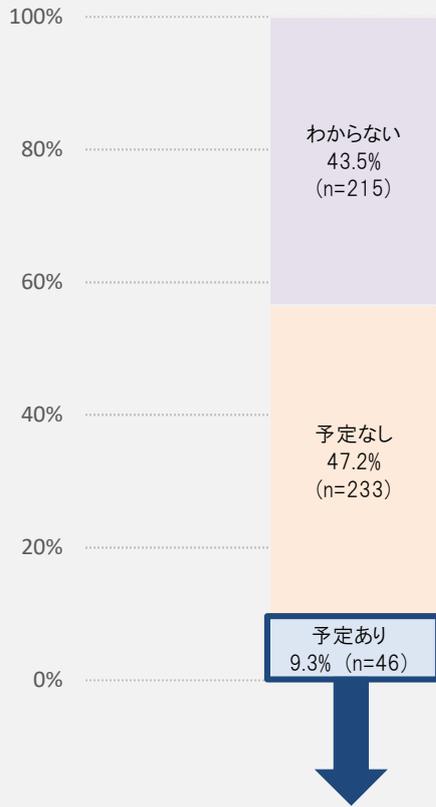
	人数	割合
北海道内	472	70.0%
札幌市	162	24.0%
旭川市	194	28.8%
その他の市	91	13.5%
道内の町村	25	3.7%
道外・その他	202	30.0%
道外の都市部	138	20.5%
その他の道外の市	57	8.5%
道外の町村	7	1.0%
合計	674	100.0%

## 地方勤務の意思（現在の勤務地別）

都市部：特別区，道府県庁所在地，政令市，中核市，医科大学・医学部所在地  
 地方：都市部以外の地域

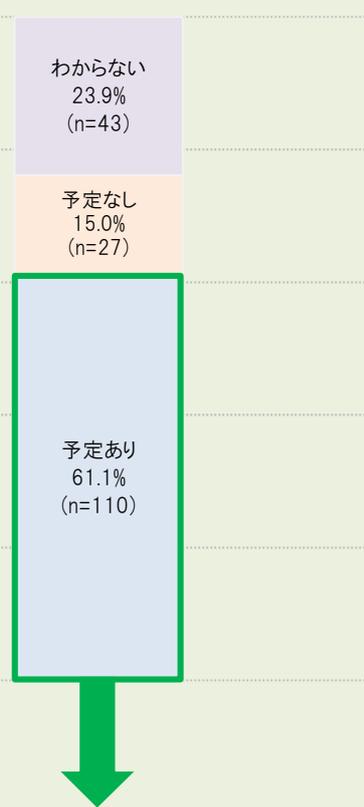
### 都市部勤務者

将来の地方勤務予定の有無 (n=494) 問 19



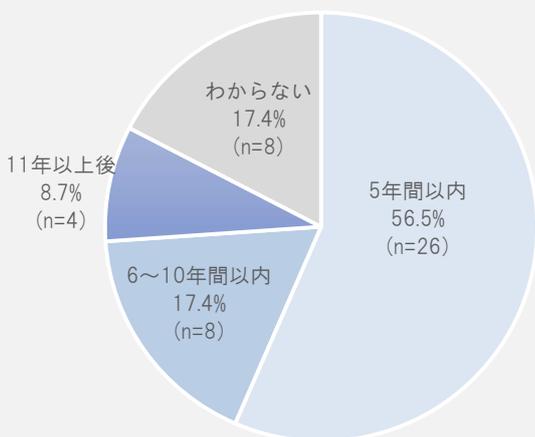
### 地方勤務者

将来の地方勤務継続予定の有無 (n=180) 問 21

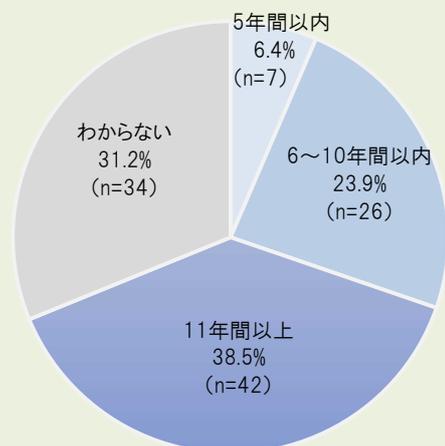


地方勤務の予定あり

地方勤務予定の時期 (n=46) 問 20

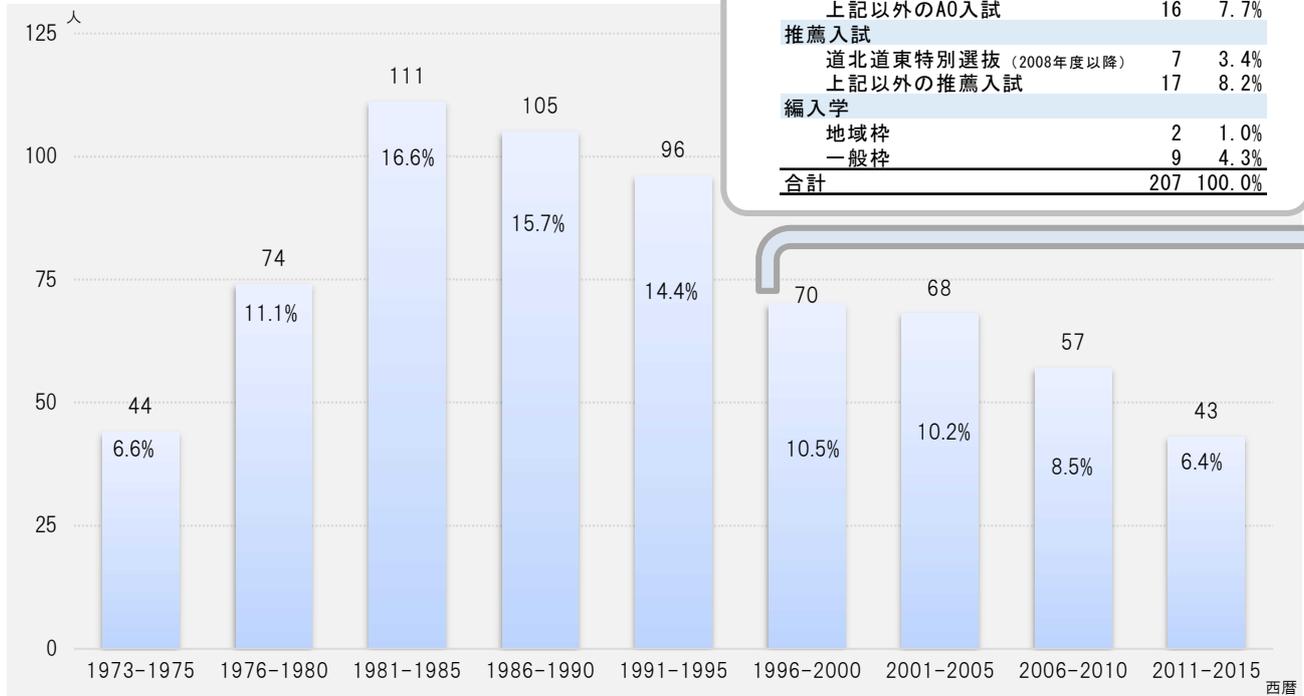


地方勤務継続予定期間 (n=109) 問 22



## 入学時期と試験の種類

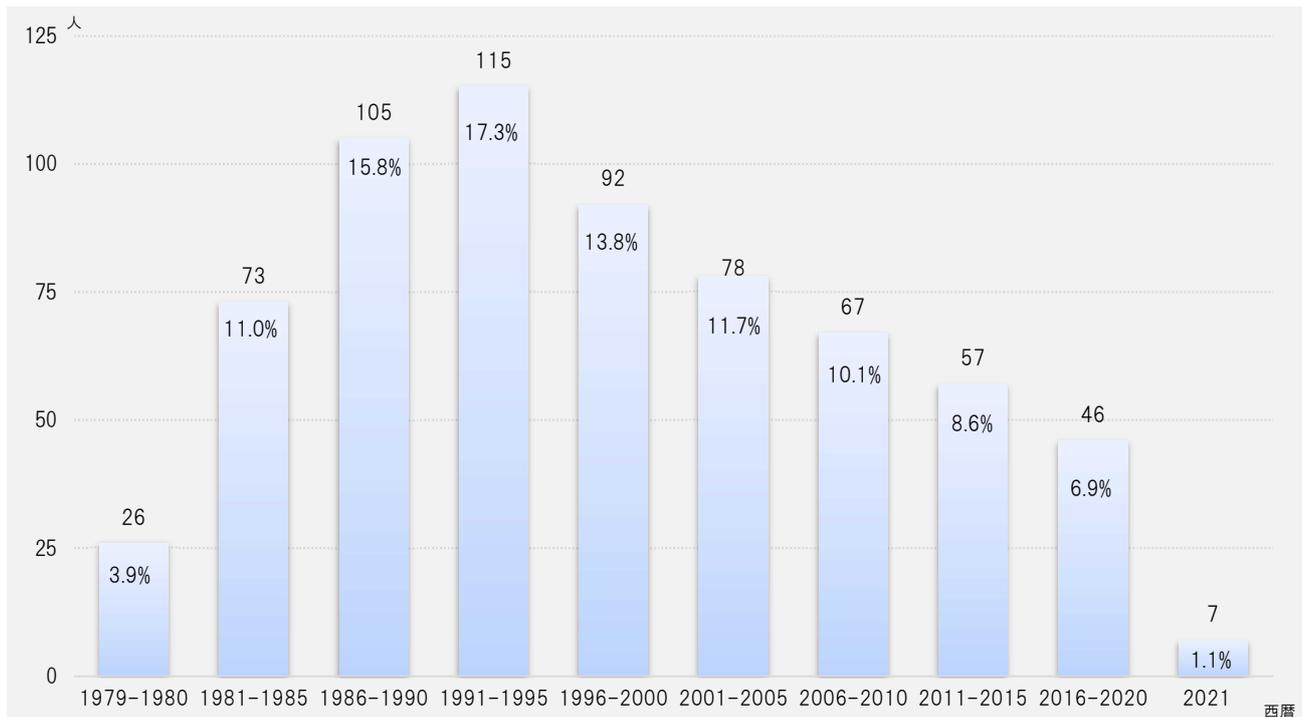
旭川医科大学入学年 (n=668) 問 31



西暦 1998 年度以降の入学者  
入学時の試験の種類 (n=207) 問 32

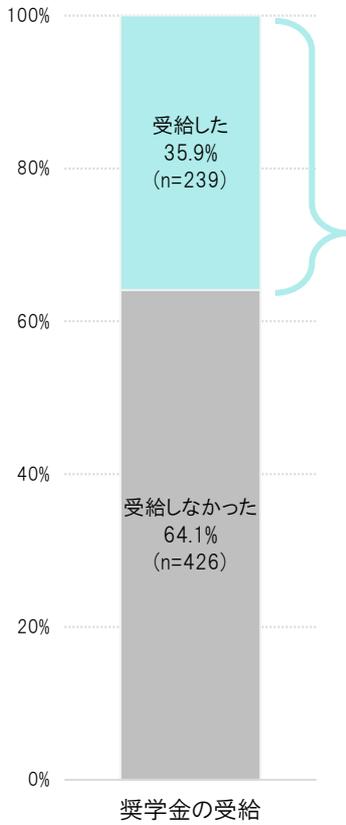
	人数	割合
一般入試		
前期	58	28.0%
後期	70	33.8%
A0入試		
北海道 (2009年度以降)	28	13.5%
上記以外のA0入試	16	7.7%
推薦入試		
道北道東特別選抜 (2008年度以降)	7	3.4%
上記以外の推薦入試	17	8.2%
編入学		
地域枠	2	1.0%
一般枠	9	4.3%
合計	207	100.0%

医籍登録年 (n=666) 問 33

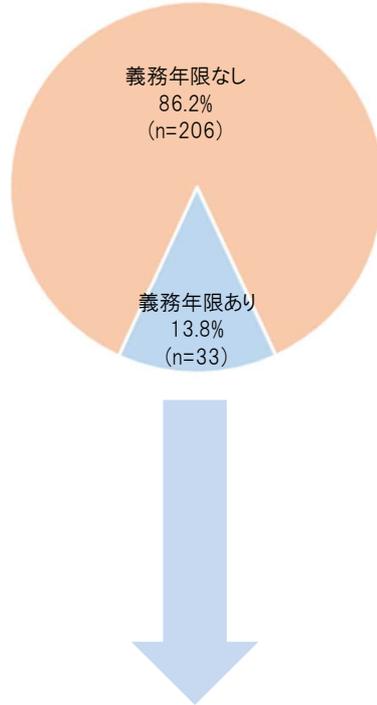


## 在学中の奨学金受給

奨学金受給の有無 (n=665) 問 34



奨学金による  
地方勤務義務年限の有無 (n=239) 問 35

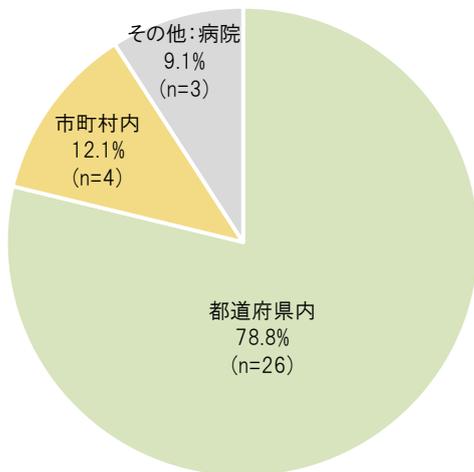


義務年限がない奨学金の種類  
(n=206) 問 36

	人数	割合
給付型	18	8.7%
利子なし	120	58.3%
利子あり	68	33.0%
合計	206	100.0%

## 義務年限がある奨学金の受給者

勤務する地方の範囲 (n=33) 問 37



義務年限の経過状況 (n=33) 問 38

